

鈴木商店調査書「大里^{だいり}酒精^{しゆせい}及^{しよちゆう}焼酎^{しよちゆう}醸造工場」(原書 P37~38)

工場 福岡県大里町
固定資本 参拾萬円内外
年産額 酒精 壹万五千石
焼酎 四万五千石
此価額 五百萬円内外
運転資本 七拾萬円内外

沿革 現況

本業は大正三年一月の開設に係り、資本金参拾萬円を以て酒精の醸造を開始し、最新式と称せらるる「イルゲス」式蒸溜器を輸入し、且つ醸造試験所を併置し、尚技術師を欧米に派遣し、^{ざんしん}嶄新なる学理を応用し、日夜研究の傍ら醸造に努力せしかば、優良なる製品を産出するに至り、^{せい}声価^か頓に揚がり、優秀品として歓迎されつつありし^{ドイツ}独逸品^{りやうが}を凌駕し、遂に同品を満鮮地方より駆逐するに至れり。

尚、同年六月より^{しよちゆう}焼酎^{しよちゆう}醸造をも兼営することとなり、^{これまたすこぶ}之又頗る好成績を呈せり。現今一ヶ年、^{しゆせい}酒精一萬五千石、焼酎四萬五千石を醸造し、価格比較的低廉なるを以て、内地は勿論満鮮方面に迄盛んに販売し居れり。